

上演にあたり

演出・関本三芳



大変長らくお待ちせ致しました。この三年間、私達お伽座がどのように活動していたかを、お話ししたいと思います。

「今まで経験したことがない」これは、このところの異常気象につけられている言葉ですが、どんな事柄の冒頭につけてもおかしくない言葉になってしまいました。お伽座はこんな状況に戸惑い、焦り、何をすべきかを見失いそうになりながら、芝居の稽古だけは続けていかなくてはいいけないと、公演の目途も立たないまま、立川志の輔師匠の新作落語「質屋暦」と、次回公演を予定している「胴切り」の二つの作品の稽古をすることを楽しみとして、又、励みとしてまいりました。

人間どおし顔を合わせて向かい合い、しつかり相手の目を見て交流する大切さが、皮肉なことに人々の交流を図るための伝達手段・インターネット・SNSが発達する中で失われつつあるように思われます。直接お客様と向き合って上演する演劇の役割が、益々大切になってくることを信じて活動してまいります。

なお今回の公演に、舞台の仕事を通じることもさることながら四十年以上、酒を酌み交わす大切な仲間である、勝又伸夫氏が照明を担当してくれることになりました。心強いかぎりです。

お伽座と私

照明・勝又伸夫

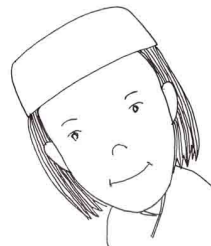


お伽座とはつかつ離れず四十年。
時には何となく、時には仕事、時には出会い、時には旅気分、時には疎遠、時にはお客さん。そこにはいつも美味しいお酒と温かく迎えてくれる笑顔があった。そしてお伽の世界への誘い。年を重ねて、さてこれからは……。



大家さん/カオル

この三年間、お客様にお会いしたくて、うずうずしながら、息をひそめておりました。練り上げたはずの芝居が、醗酵しすぎてカビてしまわない内にどうぞ美味しくくださいませ。



大黒屋/岩本あちゃこ

只今、人生最大の増量中(泣)。きつと、最強のダイエットである芝居をしていなかったからです。今回の衣装が着物でよかったあ。芝居ができることに本当に感謝です。



八五郎/大久保琢弥

三年があつという間に過ぎてしまいました。「せつかく描いた紙芝居もお蔵かあ…」と思っていましたが、とうとうお披露目です。お楽しみください。



伊勢屋/安田喜貴

次の春には、次の秋にはといいながら、もう三年だそうです。忘れたことが沢山あります。忘れたことさえ忘れてしまう思い返せばそんな事ばかりだなあ。一から出直し、半歩ずつでも前に進めれば。



おみつ/高橋るり

今回は質屋暦の女房役となります。政府が勝手に暦を変え、翻弄される庶民たち。どこかで似たような話があったような…さて、その結末は如何に!? ご期待ください!!



【アクセス】

電車：東武東上線
鉢形駅から徒歩7分

車：関越自動車道花園ICより
国道140号を秩父方面に約4km
玉淀大橋(北)信号を
東松山・小川町方面に曲がり
254号沿いセブン-イレブン横に入る